

地域住民健診（平戸度島健診）における不完全瞬目率の特徴とそれらに影響を与える因子の検討

Examination of the characteristic of incomplete blink rate and the factors affecting it in Hirado-Takushima Study

Factors affecting blink number and incomplete blink rate in the population-based Hirado-Takushima study

ショートタイトル

住民健診における不完全瞬目率

有田玲子（伊藤医院、LIME 研究会）、溝口尚則（溝口眼科、LIME 研究会）、川島素子（慶應大、LIME 研究会）、福岡詩麻（大宮はまだ眼科西口分院、LIME 研究会）、高静花（大阪大、LIME 研究会）、白川理香（東大、LIME 研究会）、鈴木崇（東邦大大森、LIME 研究会）、森重直行（大島眼科病院、LIME 研究会）

目的：平戸度島健診において、不完全瞬目率（IBR）の特徴を明らかにし、それらに影響を与える因子の検討を行うこと

対象と方法：対象は長崎県平戸市度島の全島民のうち LipiView（Johnson & Johnson）

で IBR を測定できた 356 名 701 眼（男性 133 名、女性 223 名、平均年齢 55.5 ± 22.4 歳）。全身疾患、ライフスタイル、眼症状について問診し、涙液関連パラメータを評価し、IBR の年齢性別特異曲線 GAM 解析を行い、混合効果モデル解析（18 歳以上）によりそれらに影響を与える因子の検討を行った。

結果：IBR は $0.40 \pm 0.41\%$ だった。年齢が若いほど IBR が高かった（ $p=0.015$ ）。男性は 10 歳以下で IBR が最も高く $0.511 \pm 0.04\%$ で、女性は 20 代から 50 代がピークで IBR は 0.50% 程度だった。男女とも 70 代以上で $0.311 \pm 0.028\%$ と IBR が低かった。IBR に影響を与える因子としては外にいる時間が長いほど PB が少ない（ $p=0.036$ ）、VDT 時間が長いほど PB が多い（ $p=0.036$ ）、TV の時間が長いほど PB が少ない（ $p=0.022$ ）。アイメイクしているほど PB が多かった（ $p=0.006$ ）。

結論：PB は男女ともに若い世代のほうが高いことからアイメイクや VDT 時間などライフスタイルとの関連が強く示唆された。

有田玲子【P】

高静花【F】Seed Co. (F-IV)

鈴木崇【F】メニコン、千寿製薬、HOYA、興和

川島素子、溝口尚則、福岡詩麻、森重直行、白川理香 なし